

2021年度 第2回町田市観光まちづくり推進委員会 会議録

- 開催日時 2022年2月9日（水）14時～16時
- 場 所 オンライン開催（事務局：町田市庁舎7階 会議室7-1）
- 出席者 出席委員： 西田司委員長、高橋清人副委員長、王莉莉委員、
伊藤博之委員、亀田文生委員
欠席委員： 和田圭司委員、川原晋委員、西村靖生委員、
三田村貴幸委員
傍聴者： なし
事務局： 経済観光部長
観光まちづくり課長
他事務局2名
- 資 料
- 1 町田市観光まちづくり推進委員会委員名簿
 - 2 「町田市観光まちづくりリーディングプロジェクト2022～ウィズコロナ戦略～」
 - 3 観光まちづくり基本方針の推進

○次 第

1 町田市観光まちづくり推進委員会について

・委員紹介

2 議題

- (1) 「町田市観光まちづくりリーディングプロジェクト2022～ウィズコロナ戦略～」の策定について

資料2に基づき事務局から説明。

委員からの主な質問・意見等

・前回の指摘が反映されていると思う。意見としては、市の計画は観光分野だけでなく、施設整備の分野もあるので、その分野とも整合性をとりながら進めてほしい。

また、記憶に残る旅行とは、人とのつながりが重要である。推進体制に町田市民・

ファンという項目があるが、ここは広くとらえて進めてほしい。

- ・人が人を呼んでくるということがあるので、町田ファンを作るには人のつながりを大事にしてほしい。

- ・観光まちづくり基本方針の「目指すべき将来像」は、改めて大事なことだと感じる。人と人のつながりが大事だという意見が出たが、社会が多様化していることを考えて、どういう方を呼び込むかを掘り下げてもらいたい。

また、SDGS も欠かせない話題になっている。観光を通じてどのような社会課題を解決できるのかについても考えてもらいたい。

- ・観光まちづくり課だけではなく、「まちづくり」については関連する部署との連携が必要。例えば、市の新しいごみ処理施設と観光が連携しても面白く、取り組みの幅が広がるのでは。

- ・クリーンセンターを活用して、ゴミバーという取り組みを産業観光の分野で行っている自治体もある。観光の分野が SDGS にも市のブランディングにもつながっているので参考にしてほしい。

(2) 観光まちづくり基本方針の推進について
資料3に基づき事務局から説明。

委員からの主な質問・意見等

- ・町田市のようなフィルムコミッションに取り組んでいる自治体も増えているが、撮影はシャットアウトされてしまうことが多いので、市民が参画し辛い。参考として、京都の舞鶴市ではミュージックコミッションという取り組みを行っていて、音楽関連の合宿を誘致し、地元の子どもたちとセッションするなどという交流を目指す自治体の取組もある。

- ・報告のあった町田まるごと大作戦には、国際交流センターも参加した。引き続き外国人に対する案内は行っていきたい。

- ・フィルムコミッションも効果があると思うが、これだけ SNS が普及した時代なので、町田市自体の発信力強化も必要だと思う。どこの誰に情報を出すのかという問題は難しいが、まずはコストのかからない方法でどんどん露出を増や

すことが大事だ。

・SNS を活用した情報発信も、どうすれば共感してフォロワーになってもらえるのかというのが難しいが、地道にコツコツやっていくしかない。ただ、先日メディアで放送があったような町田市の有名人に協力してもらうのは一つの手だと思う。

・どういう情報を出すか悩んでいるのではなく、情報発信できる人たちを巻き込んでしまうとよい。特に若い方は情報発信が得意な人たちも多いので、そういう方たちの協力してもらえるネットワークを大事にしていくとよい。

3 その他

リーディングプロジェクト策定のスケジュールについて、事務局から説明。